



JA長野厚生連安曇総合病院

# き ず な

第266号

発行所:〒399-8695  
北安曇郡池田町池田3207-1  
TEL(0261)62-3166代  
JA長野厚生連安曇総合病院  
発行責任者:院長 中川 真一  
編集:きずな編集委員会  
<http://www.azumi-ghp.jp/>



## 院長就任5年目の取り組み 深めたい地域との連携

病院長 中川 真一

院長就任後、日がたつとともに、当初あった改革へのエネルギーが日々の様々な業務の中で、徐々に散逸していくのを自覚します。もう一度5年前に遡り、その時に抱いていた思いの実現できていない部分を、今年度の抱負として掲げます。

その一つが地域との関わりです。地域に出掛けて行き、そこに住む人々と直接に交わり意見を聞きたい。医師不足により地域医療が崩壊の危機に瀕している所では、そこに住む住民自らが立ち上がり、病院の医師と連携し、崩壊の危機から脱している地域もある。

ります。病院と地域が互いに関心を持ち合い、社会的共通資本としての医療を守っていくことが大事だと思います。

二つ目は、職員各自が毎年の目標を定め、それをまとめて学会等で発表していくことです。職員の多くは、様々な学会や研究会へ出掛け見聞を広めています。これからは、それらを土台にしながら、自らが発表者となっていく必要があります。

これらを実行することにより病院は一層輝きを帯びてくるはず。まずはこれら二つを今年度の取り組みとします。

## 第三回緩和ケア 公開講座講演後記

安曇総合病院緩和ケア  
チーム精神科医師 古田 康

平成21年3月6日当院外来

ホールにて第三回緩和ケア公開講座が行われました。講演は緩和ケアにおける長野県の第一人者である愛和病院院長

山田祐司先生による「わかるでできる緩和ケア」でした。従来の「終末期医療」との違いは、「緩和ケア」は疾患

の早期から介入すること、がんのみならず、非がん疾患も対象になることです。「緩和ケア」は2002年WHO（世界保健機構）により定義されており、その中で、ケアされるべきものを「身体的痛み」「精神的痛み」「社会的痛み」「スピリチュアル・ペイン（霊的痛み）」の四つ

に分類しています。

講演のテーマは「スピリチュアル・ペイン」と「愛和病院の取り組みについて」です。山田先生は「緩和ケア」の中でスピリチュアル・ペインに最も重きを置いており、「生きる意味を見失った痛み」と考えています。そのために患者さんの話を「聴く」必要があり、そのために必要なものとしてコミュニケーションスキルについての説明がありました。

ポイントをいくつか列記しますと、  
上手な聴き方の五原則  
1、「80対20の法則」  
2、相手の話を奪い取らない  
3、相手の話をすぐに否定しない  
4、相手の言うことを即座に肯定する  
5、相手の反論に反論しない  
その他。

一、沈黙と非言語的対話を忘れないように  
一、相手の心のコップを空っぽにしなければ、こちらの言いは相手の中に入らない  
(説得のコップ理論) など

が提示されました。

次に「愛和病院の取り組みについて」です。愛和病院は長野駅前位置し、長野県内で緩和ケア病棟を有する数少ない病院です。地域連携パス・往診クリニック・グループケア(遺族会)などにも取り組んでいます。愛和病院はキリスト教の精神に基づいているのですが、講演全体に先生のお人柄が伝わってくる温かい講演でした。

最後に、当院でも緩和ケアチームの活動が3年目を迎えました。ご家族が生命を脅かす疾患(がんが中心ですが、それ以外の疾患でも)に直面し悩まれているとき、何なりと当院の緩和ケアチームメンバーあるいは担当職員まで

(当院に主治医がいる場合は主治医にお気軽に相談いただければ幸いです。



# な ず き

## 第26回安曇総合病院 地域連携懇話会開催

地域医療連携 山崎 泰彦  
課長代理

3月16日に当院で開催され、地域の開業医・開業歯科医の先生方をはじめ関係者および当院職員をあわせ61人の参加がありました。平成12年から年3回、地域の医療連携を深めることを目的に開催しています。

今回は、当院呼吸器内科医長・岡田光代医師による「気管支喘息の病態と治療の概要」と題した講演を行い、参加された医師から活発に質問が出



され治療に対する意見交換ができました。続いて地域連携パスの合同カンファレンスを行いました。大腿骨頸部骨折地域連携パス・脳卒中地域連携パスの運用状況を連携室看護師長と医師から説明し、連携状況について開業医から意見をいただきました。

診療は入院・手術等の治療と、通院治療の機能・内容によって分担し、地域で連携して行っています。病院で診療が終了するとお近くの医療機関での通院診療を勧められています。

最後に、当院で進めている医療の電子化の一環として、紹介時に添付する資料をCD（コンパクトディスク）にする取り組みを紹介しました。起動ソフトが添付されているためCDドライブ付パソコンで参照が可能となっていて、その操作方法を紹介しました。当院では、この会を通じ多くの地域の医療機関・福祉機関との連携を密にし地域に貢献できるように努めます。

## 音楽療法のご紹介

精神科作業療法室 佐藤 侑子  
音楽療法士

当院では、3年前から南棟及び、メンタルケアセンターあずみ精神科デイケアで音楽療法を導入しています。

音楽療法とは音楽の持つ生理的、心理的、社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、意図的、計画的に使用することで効果を得る療法です。日常生活の中で誰もが慣れ親しんでいる音楽は、導入しやすいリハビリテーションの手段の一つといえます。

南病棟では、作業療法の一環として個別・集団音楽療法を行っています。ここでは、歌唱活動によって、過去を回想し長期記憶を刺激しながら認知機能へのアプローチを図っています。また、ストレスの軽減、意欲、運動機能など、身体・精神面への作用が期待されます。

精神科デイケアでは、幅広い年齢層に加え、様々な治療段階の利用者が参加していま

す。ここでは、ハンドベル合奏を通して、成功体験を自信回復に繋げていく事を目的にプログラムを進めています。

昨年度からは、地域からの音楽療法士派遣依頼も増えており、保健事業や施設でのレクリエーションの時間に、対象者のニーズに合わせた活動を行っています。

また、県内で音楽療法を導入している病院は少なく、認知度は低いと感じていますが、全国的には実際の音楽療法の効果を医学的根拠として立証する研究が増えています。当院の音楽療法も地域医療や保健福祉の中で力を発揮していきたいと思えます。



## らっくらわ

看護部 因幡 佳代子

私は、この病院に来て約12年目になります。

この数年、病院と家の行き来でただただ、時間を過ごしてきました。でも、日常疲れをいやしてくれるものはあまりなく、張り合いもなかったのですが、数匹の猫を飼うようになり、毎日の生きがいを見つける事が出来るようになりました。

この間、一番気に入っている猫のチヨビが急に家からいなくなり、仕事をしてても何しても、心に大きな穴があき、ちんやりしていたのですが、一カ月して、急に帰って来ました。貫禄があった大きな体は一回り、イヤ二回り小さくなり、元気がなかったけど覚えてくれ、甘えてきました。一生懸命愛情をそそげば動物も気持ちに答えてくれる事がわかり、改めて、私自身日頃の生活態度、思いやりを持って接していこうと思えました。猫の為に仕事がんばります。

## 皆様から寄せられた「声」(ご意見)のご紹介

### ご意見 整形外科に対しての質問

外来での担当医はA医師だったが、入院したら担当がB医師になっていた。変更について何も説明がない。どうして変わったのか説明してほしい。

### お答え 入院した患者さんには、外来で診ていた医師の他にも担当医がきます。

一人ひとりの患者さんについて、チームを組んで診断と治療法を決めていきます。入院したときには、必ずそのことについて医師からも看護スタッフからも説明をするのですが、今回は説明が不十分だったようで申し訳ありませんでした。地域の基幹病院として、最高の医療チームを作っていますので今後ともよろしく願います。(整形外科部長)

### ご意見 外来棟2階の車椅子トイレがタバコ臭くて不快です。トイレ内で吸っている人がいるのではないのでしょうか。

### お答え ご指摘ありがとうございます。院内禁煙ではありますが、トイレ内で喫煙している方がいると思われま。防火管理的にも大きな問題です。今回、ゴミ箱内には吸殻は見当たりませんでした。引き続き調査します。当面、貼り紙で禁煙厳守を呼びかけました。なお、喫煙を確認した場合には厳重に注意させていただきますのでご理解ください。

## トピックス・アズミ

▼3月3日、院内感染対策研修会を開催しました。

▼3月6日、第3回緩和ケア公開講座を開催しました。

▼3月13日、第25回栄養勉強会を開催しました。

▼3月16日、第26回安曇総合病院地域連携懇話会を開催しました。

▼3月19日、臨床研修修了式を行い、2人の初期研修医と3人の後期研修医が修了をむかえました。



## ボランティアコーナー

春の日差しになり、桜の開花が待たれる今日この頃です。

このコーナーで普段、ボランティアの方の声を直接お伝えする事があまりなかったため、昨年度の締めくくりとして、年間を通して布切りに着ていたお伺いしている皆さんにお話しをお伺いしたところ、「ただひたすら切っています。」

「少しでも病院の役に立てれば...」「真心をこめて切っています。」「診察に来た時に寄って切っています。」というありがたいお言葉をいただきました。

こうした皆さんに支えられている事は本当にありがたい事と感謝しております。ボランティア運営委員会も新年度を迎え、また新たな気持ちでボランティアの皆さんが気持ち良く活動していけるよう頑張っていきたいと思えます。また、今年度より新しくボランティアを希望される方がいらつしやいましたら、ボランティア募集の情報についても随時このコーナーでもお伝えしていく予定です。よろしくお願いたします。

## 編集後記

世界各国で景気対策に四苦八苦している中、日本も思ひ、そんな折、不謹慎だと思いでしようか、小生この一月から三月にかけ、長野県の七福神四十二カ所の寺社すべてめぐり歩いて参りました。新年度いいことあるかな：皆様にしても：。(E・N)

## 安曇総合病院理念

私たちは、皆さまに満足いただける親切・安全な保健・医療・福祉サービスの提供につとめます。

私たちは、事業活動を通じJAGグループや地域の関係機関と連携し豊かな地域づくりに参画します。

私たちは、皆さまとともに病気の予防と早期発見につとめ地域の健康増進に貢献します。

私たちは、安定した運営基盤のもとに医療内容の充実と療養環境の改善につとめ、皆さまに信頼される病院づくりをめざします。

## 基本方針

・皆さまが満足できる適切で安全な医療の提供につとめる。

・皆さまの権利とプライバシーを尊重する。

・皆さまへ十分な説明をし、理解と同意をいたたくことを主たる医療活動の前提とする。

・近隣医療・福祉施設と連携し、地域医療・福祉の充実につとめる。

・地域のニーズに即応できる救急医療体制の整備充実につとめる。

・在宅医療支援活動の増進につとめる。

・保健予防活動に積極的に取り組み、地域の皆さまの健康増進に貢献する。

・病院職員の健康・福祉の増進につとめる。

・適切で明確な病院運営方針を策定し、その実現につとめる。

・厚生連の諸活動やその他の文化・研究活動に積極的に参加する。

当院は2004年に厚生労働省から臨床研修指定病院の指定を受けています

## 安曇総合病院臨床研修理念

1、医師としての基本的な診察能力(態度・技能・知識)を身につけ、広い視野で医療ができることを目標とする。

2、患者に対し誠意を持ち心の通った診察ができる医師を育成し、医学の進歩と地域医療の発展に貢献する。

《 担 当 医 表 》

平成21年4月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科(一般)初診	岡田光代 市山崇史	東方壮男 塩月記代	川上裕隆 市山崇史	岡田光代 薛孝太郎	早野敏英 塩月記代	川上裕隆 市山崇史
	内科(一般)再診(予約制)	川上裕隆 東方壮男 林田研介	川上裕隆 岡田光代 林田研介 市山崇史	早野敏英 東方壮男		中川真一(9時30分~) 川上裕隆 林田研介	早野敏英 岡田光代
	循環器内科	東方壮男	池田宇一(信大)	東方壮男	千田啓介(信大)	東方壮男	
	呼吸器内科	花岡正幸(信大)	岡田光代				藤本圭作 (信大:第1のみ)
	神経内科	中川真一 (9時30分~)		中川真一 (10時~)	林田研介(10時~) (紹介患者さんのみ)		林田研介
	血液内科		川上裕隆	川上裕隆			
	消化器内科		新井 薫(午後) (予約のみ)				
専門外来 (信大医師)				一條哲也(肝臓) 上條祐司(腎臓)		信 大 (リウマチ・膠原病)	
精神科 ・ 心療内科	精神科 心療内科	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 長村哲周 樋端佑樹	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 長村哲周 樋端佑樹	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 古田 康 衛藤高明	交代制	村田志保 鬼頭 恆 長村哲周 衛藤高明	鬼頭 恆 中村伸治 長村哲周 樋端佑樹 衛藤高明
	認知症外来		交代制				
小児科	午前	信 大 原 敏博	保刈 健 (原 敏博)	原 敏博 (保刈 健)	保刈 健 (原 敏博)	原 敏博 又は 保刈 健	信 大 (原敏博又は保刈健)
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)		慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外科	一般外科	金谷 洋	佐藤敏行	佐藤敏行	金谷 洋	金谷 洋	佐藤敏行
	呼吸器外科	花岡孝臣(午後)			花岡孝臣		花岡孝臣
	形成外科		矢野志春(信大) (14時から診療)				
	乳腺内分泌外科			信 大(乳腺) (完全予約制)		信 大(甲状腺)	
整形外科 (受付10時30分まで)	最上祐二 森岡 進 柴田俊一 王子嘉人 (受付9時30分まで)	谷川浩隆 二木俊匡 柴田俊一 高橋 淳(信大)	最上祐二 森岡 進 柴田俊一 王子嘉人	谷川浩隆 森岡 進 二木俊匡	谷川浩隆 最上祐二 二木俊匡 畑 幸彦(信大)	( 輪 番 )	
皮膚科	信 大		信 大		信 大	信 大	
泌尿器科			石塚 修(信大)				
産婦人科	信 大	曾根原衛雄	信 大		信 大		
眼科	太田いづみ	今井玲子		太田いづみ・今井玲子 (午後コンタクトレンズ要予約)	太田いづみ (受付10時まで)	今井玲子	
耳鼻咽喉科		信 大 (14時から診療)			信大(14時から診療) (第2・4土曜の前日のみ)	信 大 (受付11時まで)	
放射線科	信 大			信 大			
麻酔科 (受付11時まで)	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	
リハビリテーション科	緒方洪之	王子嘉人	緒方洪之	中川真一	柴田俊一		
歯科口腔外科	中嶋哲・酒井洋徳	中嶋哲・酒井洋徳 信 大(午後)	中嶋哲・酒井洋徳	中嶋哲・酒井洋徳	中嶋哲・酒井洋徳	中嶋哲・酒井洋徳	

☆第2・4・5土曜日(4月11日・25日)と、4月29日(祝日)は休診です。